

# G6閣僚会合等の結果概要

平成18年3月  
農林水産省

## I. G6閣僚会合

1. 日時・場所:3月10日(金)・11日(土) 於:英国 ロンドン

2. 出席者:

我が国:中川農林水産大臣、二階経済産業大臣  
EU:マンデルソン貿易委員(議長)、フィッシャー・ボエル農業委員  
米国:ポートマン通商代表、ジョハンス農務長官  
ブラジル:アモリム外務大臣  
インド:ナート商工大臣  
豪州:ヴェイル貿易大臣  
ラミーWTO事務局長

3. 結果概要:

(1) 今回の会合では、各国間で意見の異なる論点について、立場の差を縮め、共通の立場を構築することを目的に、各国が建設的に議論に参加。

(2) 農業の国内支持に関しては、香港閣僚宣言に規定された、総合AMS、貿易歪曲的国内支持全体の「効果的な削減」の意味や、新青の政策に対する追加的規律に関する議論の進め方等について協議。

この中で、我が国からは、米国の価格変動対応型支払について、生産量の3分の1が輸出に回っており、結果的に輸出補助金と同等の効果を有していることから、重大な問題であり、追加的規律が必要である旨発言。

(3) 農業の市場アクセスに関しては、削減方式は定率削減、先進国の階層の境界はG20提案の数値との方向で議論。途上国と先進国の比例性(削減率、階層の境界)をどの程度とするかについても議論。また、重要品目の関税割当拡大のベースについては、中間的な解決を技術的に議論することとされた。特別品目(SP)についても、対象となる品目の指標について技術的に議論することとされた。

非農産品市場アクセスに関しては、フォーミュラは2つの係数とし、これらの係数及び途上国の柔軟性の具体的な在り方について議論したが、先進国・途上国の立場が収斂することはなかった。

また、小規模脆弱国にはフォーミュラの係数について配慮が必要であるとの議論もあった。

(注)小規模脆弱国の例として、ドミニカ共和国、バルバドス、ボリビア、エル・サルバドル、パラグアイ等

## II. バイ会談

### 1. 中川農林水産大臣・二階経済産業大臣とナート・インド商工大臣との会談概要

(1) 日時・場所:3月10日(金) 12:30~13:15

於:英国 ロンドン (ドーチェスター・ホテル)

(2) 当方同席者:

木下農林水産審議官、村上特別補佐官、吉村国際部長、伊地知参事官、北村通商政策局長、小川通商機構部長、藤崎寿府代大使 ほか

(3) 概要:

- ① WTO交渉に関し、今回のG6閣僚会合の進め方や農業交渉における協力等に関して議論を行った。
- ② また、インド産マンゴウの輸入解禁問題に関する意見交換を行った。

### 2. 中川農林水産大臣とジョハnz米農務長官との会談概要

(1) 日時・場所:3月10日(金) 14:30~15:40

於:英国 ロンドン (ドーチェスター・ホテル)

(2) 当方同席者:

木下農林水産審議官、村上特別補佐官、吉村国際部長、伊地知参事官 ほか

(3) 概要:

- ① ジョハnz長官から、米国産牛肉等の輸入手続の早期再開を要請する立場より、来週中にも質問への回答を行う等、日本側にできる限り協力したいとの発言。
- ② これに対し、中川大臣からは、米国側回答を待って対応を検討したい旨、日米の信頼関係に基づいて話合いを継続したい旨応答。

### 3. 中川農林水産大臣とフィッシャー・ボエルEU農業委員との会談概要

(1) 日時・場所:3月10日(金) 16:10~16:50

於:英国 ロンドン (EU代表部)

(2) 当方同席者:

木下農林水産審議官、村上大臣特別補佐官、吉村国際部長、大杉国際貿易機関室長 ほか

(3) 概要:

WTO農業交渉に関し、今回のG6閣僚会合の進め方や両国間の協力等についての意見交換を行った。